

獣医師を目指して先端技術の研修

畜産技術部(畜産試験場)

平成 21 年 7 月 2 日

6 月 29 日、山口大学獣医学科 5 年生 33 名が、畜産技術部において、畜産の先端技術である受精卵移植に関する研修を受講しました。

供卵牛からの採卵に始まり、受精卵の選別、ストロー内への封入、凍結の手順の実技を研究員から 1 つ 1 つ説明を受けました。牛の受精卵の顕微鏡下での観察は、大学では学ぶことのできないものです。

学生達は、研究員の手元や映し出された受精卵の画像を食い入る様に見つめていました。

今後も、畜産技術部は、全国の自治体で、獣医師不足が深刻化しているため、山口大学と緊密な連携を取りながら、獣医師確保に向けて、特に畜産に深い興味を示す学生の育成に努めて参ります。



研究員の手元をのぞき込む学生達